

第3回 学校運営協議会 議事録

- 日 時：令和3年2月17日（水） 10時～12時
- 場 所：則武小学校 会議室
- 参加者：8名（1名欠席）
- 次 第

1. 学校運営協議会会長あいさつ
2. 学校長あいさつ
3. 授業参観 3時間目
4. 協議
 - (1) 今度の学校経営について
 - ・ 子ども達の様子から
 - ・ 学校評価について
 - ・ 保護者アンケート、自己評価の結果より
 - (2) 学校のきまりの見直しについて
 - (3) 令和2年度事業反省と来年度に向けて
 - (4) 予算の執行状況について
 - (5) その他
5. 学校運営協議会会長あいさつ

○ 運営協議会委員からのご意見

- 委員1 進んだ取り組みが実践されびっくりした。「学び合い」の授業は、子どもの主体性、協調性を育てる上で、とてもよい取り組みと感じた。また、どの子どもも学習に集中し学び続けている姿がとても印象的であった。
- 委員2 チームで仕事をする能力が求められている。社会人に求められる力が違ってきているため、「学び合い」の授業はとても有効であると感じた。これに伴って評価の仕方を考えていく必要がある。
- 委員3 教育は時代によって違う。昔は、「黙って話を聞きなさい」「無駄口を話さない」「挙手をして発言しなさい」と強いられてきた。「指示されて行動する教育」「与えられて行動する教育」の見直しが必要である。「学び合い」の研究をどんどん進めていただきたい。
- 委員4 タブレットで一人ひとりがインターネット検索して学習していた授業があり、多様な情報を活用・編集できる力が育てられると感じた。一方で、インターネット情報の信用性も教えていく必要がある。
- 委員5 子ども達が自分で表現するツールとして、タブレットを活用したプレゼンの場面があった。最初は、スキルを身に付ける上で時間がかかると思うが、慣れればとても有効に考えを表現できる方法だと感じた。
- 委員6 Action Child Program は、コロナ期でも子ども達が楽しみながら運動量を確保していく素晴らしい方法だと感じた。研究でもしっかりと運動量が確保されていることがわかっている

こともあり、今後も充実することを期待する。

委員7 これからは、個性のある人材がいた方がよい。少人数指導と言うよりは、異学年交流や地域の大人との交流など、縦、横、斜めの関係ができる教育を実践できるとよいと思う。

委員8 「学び合い」では、子ども達の活気を感じることができた。子ども同士でわからないことを聞いて説明することは、確かな学力と豊かな仲間関係を醸成することができ、自己肯定感を高めることにつながると思う。人間的な力が大きく身につくことを期待したい授業であった。